





## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2025 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
～次の100年へ～ 私たちは 物流を支えるプロとしての誇りと責任を持ち、環境、社会に配慮した活動を通して、人・企業・地域と共に未来を創る会社を目指します。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
清水港を主な拠点とし、清水港とともに歴史を刻んで来ました。環境・社会に配慮した活動を確実に実践し、これからも人・企業・地域と共に成長し続ける会社を目指します。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2024 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2025 年12月31日までの取組目標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人が働ける職場環境の整備</li> <li>多様な働き方の実現</li> <li>募金活動、交通安全推進活動等の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「男性育児休業取得応援制度」（当社独自）の原案作成、リーガルチェックを行い、来期施行予定。</li> <li>シニア世代を迎える社員50名を対象にリタイアメントセミナーを開催。今後重要となる退職金や年金に関する基礎知識の習得を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児介護等、ライフステージに合った就業形態に柔軟に対応</li> <li>職能・職域変更希望者等への対応</li> <li>産休・育休取得者への対応</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民、学生に対する物流見学、体験会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清水エスパルと共催で『朝活！健康プログラム』を開催。清水、静岡で各12回、前24回のプログラムを実施し延べ1,000人以上の地域住民にご参加いただいた。</li> <li>清水桜が丘高校での特別授業へ参加</li> <li>清水第一中学の要請から職場体験学習の受け入れを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との共生活動</li> <li>朝活！健康プログラムの継続実施</li> <li>清水港と国際物流業の魅力発信</li> <li>特別授業への参加、インターンシップの受入れ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性役職者、総合職社員の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己申告調査を通じて、各個人のスキルプランに関する希望調査を実施。総合職への転換を希望する社員に面談を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティの推進</li> <li>全社員総活躍企業</li> <li>リーダー研修、幹部候補生研修</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン電気の導入比率を上げ、再生可能エネルギー指標率40%達成</li> <li>社有車の電動車化率50%</li> <li>フォークリフトバッテリー化率70%</li> <li>風力発電による自家発電の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社全体の約35%を再生可能エネルギー（静岡Green電気、CO2フリー電気）とした。</li> <li>社有車46台中23台が電動車となり50%を達成。</li> <li>フォークリフトは全192台中130台がバッテリー車。（67.7%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン電気（CO2フリー電気）購入比率増加を検討。（40%）</li> <li>社有車の電動車化率60%</li> <li>フォークリフトバッテリー化率70%</li> <li>軽量太陽光パネルやペロブスカイト太陽電池の研究。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>労災事故ゼロの安全作業環境づくり</li> <li>有休休暇取得日数の増加</li> <li>育児、介護等 勤務条件を踏まえた処遇制度の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季に作業職（協栄会社員）全員に飲料を配布。1人2ケース支給。（総数592ケース＝14,208本）</li> <li>清水エスパルスの療法士による腰痛体操を複数回開催。</li> <li>制限勤務者（事情により時間外勤務が出来ない等）の抽出と管理者への対応を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労災事故ゼロの安全作業環境づくり</li> <li>転倒防止策の強化</li> <li>KPI管理による不適合の見える化と改善活動の実施</li> <li>フォークリフトの計画的買換え</li> <li>熱中症対策の強化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる公共機能の維持・拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難ビル（公共機能）として</li> <li>カセット式発電機、LED投光器の整備。全部署ガソリン式からカセット式へ変更</li> <li>電気自動車用移動式給電装置整備（リーフ用1台、サクラ用1台）</li> <li>本社駐車場・通用口の段差解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる公共機能の維持・拡大</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達推進の推進継続</li> <li>・5Rに基づく「廃棄物」の処理対応を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達推進のため ①全社のグリーン購入割合を見える化。</li> <li>②リーフレットの掲示、回収状況の確認、出先店所への視察を実施。</li> <li>・フォークリフトバッテリー再生装置の導入を検討するも、スペックが合わず断念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入の更なる推進のために啓蒙と実績の見える化。</li> <li>・エコキャップ運動促進、状況視察、成果の見える化。</li> <li>・5Rに沿った業者の選定</li> </ul> <p>重点:①紙 ②木材 ③プラスチック</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量を細分化して把握できるシステムの研究</li> <li>・省エネ活動を促進してCO2排出量削減を加速する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量可視化システムを導入。</li> <li>・拠点毎に電力使用量の推移を集計し省エネを啓蒙。</li> <li>・ハイブリッドファン（エアコンの風を拡散するファン）を出先店所含め全ての拠点に設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量可視化システムを活用した排出量削減活動の継続。</li> <li>・拠点毎の電力使用量推移の把握を継続し、省エネ活動を啓蒙。</li> <li>・窓ガラスに遮熱塗料を塗布することによる省エネの検証・導入。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水港（周辺施設含む）の環境保全活動への参加、実施継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社及び出先店所に各地区での環境保全活動の案内を配信。</li> <li>・三保海岸清掃活動に参加。</li> <li>・各部署に清掃活動等の地域貢献活動への参加状況に関するアンケートを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動への参加</li> <li>・自社施設周辺の美観維持</li> <li>・社内5S委員会との共同活動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令や社内規定・方針等の社内周知を図るため、従業員への教育訓練を計画・実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社の「業務関連法案」について、各部署での教育訓練の実態のアンケート調査を実施。</li> <li>・7つの法令について横ぐしの教育訓練が必要と判断し、講師・内容・外部講習の有無など、実施に向けた案を検討中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務関連法令（7法）に関する教育訓練の計画と実施。</li> <li>・パートナーシップ構築宣言に準拠した取引きの継続。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs活動は3ヶ月毎にプロセス管理を行い、6月と12月の全社大会で全社員に活動を報告した。</li> </ul>		

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

## 様式第2号（第6条関係）

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社天野回漕店	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	6 事業所
2	業 種	13. サービス業（他に分類されないもの）	
3	従業員（構成員）数	500 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	取締役社長
		氏 名	山田英夫
5	所 在 地	〒 424-0943	
		静岡県清水区港町二丁目9番5号	
6	ホームページURL	<a href="https://amanok.co.jp/">https://amanok.co.jp/</a>	
7	担 当 者	所 属	総務部 総務課
		氏 名	服部鉄次
		電 話 番 号	054-353-2151
		F A X 番 号	054-353-2320
		メールアドレス	<a href="mailto:tetsuji-hattori@amanok.co.jp">tetsuji-hattori@amanok.co.jp</a>
8	暴力団関係者で ないことの誓約	「暴力団」、「暴力団員等」及び「暴力団員等と密接な関係を有するもの」でない場合は、 チェックボックスにチェックを記入してください。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	「暴力団」、「暴力団員等」及び「暴力団員等と密接な関係を有するもの」ではないことを 誓約します。

上記項目のうち、1～6の項目は原則として公開します。